

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	音楽振興事業							担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計					担当課	生涯学習課				
	事業期間	平成26年度以前		～			平成30年度まで		担当係	社会教育文化係		
	基本施策・展開方向	4 文化・スポーツ		15 文化振興			1		市民が文化芸術に親しめる機会を充実します			
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	2	
	根拠法令・個別計画	第2次小牧市文化振興ビジョン										
	目的	何・誰を対象に	生の音楽に触れたことのない市民、また触れる機会の少ない市民									
		どの様な状態にするのか	音楽講座等を通して、音楽の歴史・時代背景・地域性・楽器等について学ぶことにより、市民の音楽への関心を高めるとともに、音楽鑑賞の幅を広げ音楽愛好者の拡大を図る。また子どもたちに、生演奏で音楽を鑑賞する機会を提供し、子どもたちの音楽への興味関心や心の成長等を図る。									
		内容(手段)目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆28年度実施内容・直接経費の内訳</p> <p>○音楽鑑賞講座(委託料:1,100千円)</p> <p>名古屋芸術大学と連携して、プロ奏者による生演奏と名古屋芸術大学教授によるレクチャー形式による3回の講座を実施し、幅広いジャンルの音楽をあらゆる角度から解説を交え、演奏を楽しみながら学べる内容とした。</p> <p>○サンデーコンサート、ふれあい音楽広場等(講師謝礼、印刷製本費、役員費:1,461千円)</p> <p>市民団体(ポルタメント小牧)との協働により各市民センターで年5回のサンデーコンサートと1回のモーニングコンサートを実施した。毎月第1日曜日の昼に味岡市民センターロビーを利用したふれあい音楽広場を実施した。職員は、出演者との日程、曲目、演奏順等を調整するとともに機材の配置、転換、照明、音響等について舞台技術者と調整、チラシ作成、事前PR、プログラム作成、コンサート当日の運営を実施。</p> <p>○オーケストラ演奏鑑賞事業(委託料:26,867千円)</p> <p>小学校8校、中学校3校に対してプロのオーケストラによるコンサートを学校に出向いて行い、児童生徒がクラシック音楽を身近に感じ音楽への関心を高めた。職員は、学校からの日程・演奏曲目等の要望をとりまとめ、中部フィルと演奏会に向けて調整し、プログラムの印刷を行った。また市内全幼稚園・保育園(幼稚園11園、保育園20園)を対象に中部フィルハーモニー交響楽団によるアンサンブル演奏を提供し、子どもたちが音楽への関心を持つきっかけを作る機会を提供した。</p> <p>○音楽指導(委託料:4,687千円)</p> <p>市内小中学校・高等学校の依頼により、中部フィルハーモニー交響楽団の楽団員・指揮者・アンサンブルを各学校に派遣し技術指導及び音楽授業等への支援を実施した。児童・生徒はプロ奏者の演奏に接することで、楽器を演奏することへの興味・関心を高められた。職員は、学校からの指導者派遣依頼日程等の要望をとりまとめ中部フィルハーモニー交響楽団と調整した。</p> <p>○消耗品費(29千円)</p> <p>○中部フィルハーモニー交響楽団支援委員会費(負担金:3,000千円)</p> <p>◆29年度実施内容・直接経費の内訳</p> <p>一般財団法人こまき市民文化財団に事業移管</p>									
		受益者負担	有 音楽鑑賞講座:全3回講座受講大人:1,550円、小中学生:750円、1回のみ受講 大人:1,000円、小中学生:500円 計445,050円									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費		千円	42,363	44,999	37,144	-
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	-
			人件費	千円	1,100	1,100	1,125	-
		その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	-
			人件費	千円	2,213	2,261	2,249	-
		費用合計		千円	45,676	48,360	40,518	-
	対前年比		%		105.8	83.7	-	
財源	一般財源		千円	45,031	47,908	40,073	-	
	国・県支出金		千円	0	0	0	-	
	その他財源		千円	645	452	445	-	

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	音楽鑑賞講座	回	目標	6	3	3
実績				6	3	3	—
音楽指導申込学校数		校	目標	—	—	—	—
			実績	22	22	25	—
派遣楽団員・指揮者数		人	目標	—	—	—	—
			実績	442	402	339	—
成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29	
音楽鑑賞講座受講者数	人	目標	300	250	250	—	
		実績	278	242	232	—	
サンデーコンサート来場者数	人	目標	1,300	1,200	1,200	—	
		実績	1,299	1,446	1,391	—	

事業の自己評価	平成28年度の達成状況	<p>音楽鑑賞講座受講者数は概ね目標を達成できたが、来場客数が固定化しつつあり内容の実施方法の再検討が必要である。しかしながら、プロ音楽家による生演奏と大学教授のレクチャーを身近で受講できるのは、貴重な体験である。</p> <p>サンデーコンサートは来場者数を伸ばすために、多様なプログラムを企画し実施した。またポルタメント小牧の会員で集客のPRをしており、来場者数の目標を達成できた。</p> <p>オーケストラ鑑賞事業は中部フィルハーモニー交響楽団が本拠を置く、小牧市の文化事業の特徴のひとつであり、初めて音楽に接する子どもへの情操を育む貴重な機会となっている。また部活動や音楽授業における音楽指導事業によって、小中学校高校の技術レベルの向上がはかれるのみでなく、自分の楽器への興味・関心をより深める機会となっている。</p>							
	事業実施における課題	<p>音楽鑑賞講座においては、来場者数の固定化が進んでいるため、実施方法を含めたあり方を見直し、日常生活において、音楽にふれる機会の少ない市民や世代が、気軽に参加したり、音楽に興味を持ってもらえるような内容を提供できるかが課題である。</p> <p>音楽指導は学校の希望する日程と楽器が学校間で重複するため、調整が困難であるが、協力や理解を得ながら、中部フィル及び学校担当者と三者で連携して、子どもたちの希望をかなえられるよう事業を進める。また、オーケストラ演奏鑑賞事業の内容を、鑑賞する年齢に見合った内容が提供できるよう、より改善を検討していく。</p>							
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	一般財団法人こまき市民文化財団に委託し実施						
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの					
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	3,192	千円	予算区分	13	節	節	
	判定理由・削減内容	<p>音楽指導委託料について、指揮者の派遣を廃止したことに加え、平成27年度、平成28年度と派遣実績が減少していることを踏まえ、事業実施に差支えない範囲で派遣回数調整し、予算額を1,107千円削減できるとした。</p> <p>オーケストラ演奏鑑賞事業委託料について、中学生という情緒豊かな時期に重点を置き、中学校では3年に1回、各学校で実施していたものを市民会館ホールで本格的なオーケストラ鑑賞の機会を提供することとし、小学校については事業目的の達成に差支えない範囲で回数を見直すことにより、2,605千円削減を見込んだ。</p> <p>音楽鑑賞講座については、受講者の固定化と減少を受けて、従来の講座形式による鑑賞を廃止し1,100千円の削減を見込んだ。また、新しい形として名古屋芸術大学と連携し、音楽を切り口に市民会館で行うせせらぎコンサートなどと複合的にミュージックフェア(1,620千円)を開催し、新しい層へのアプローチを行う。</p>							
	30年度以降の実施内容	(一財)こまき市民文化財団とともに魅力ある事業の実施に向けて、市として連携協力していく。							

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	<p>一次評価のとおり。</p> <p>平成30年度以降の文化事業開催委託料の音楽指導事業(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするとともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。</p>